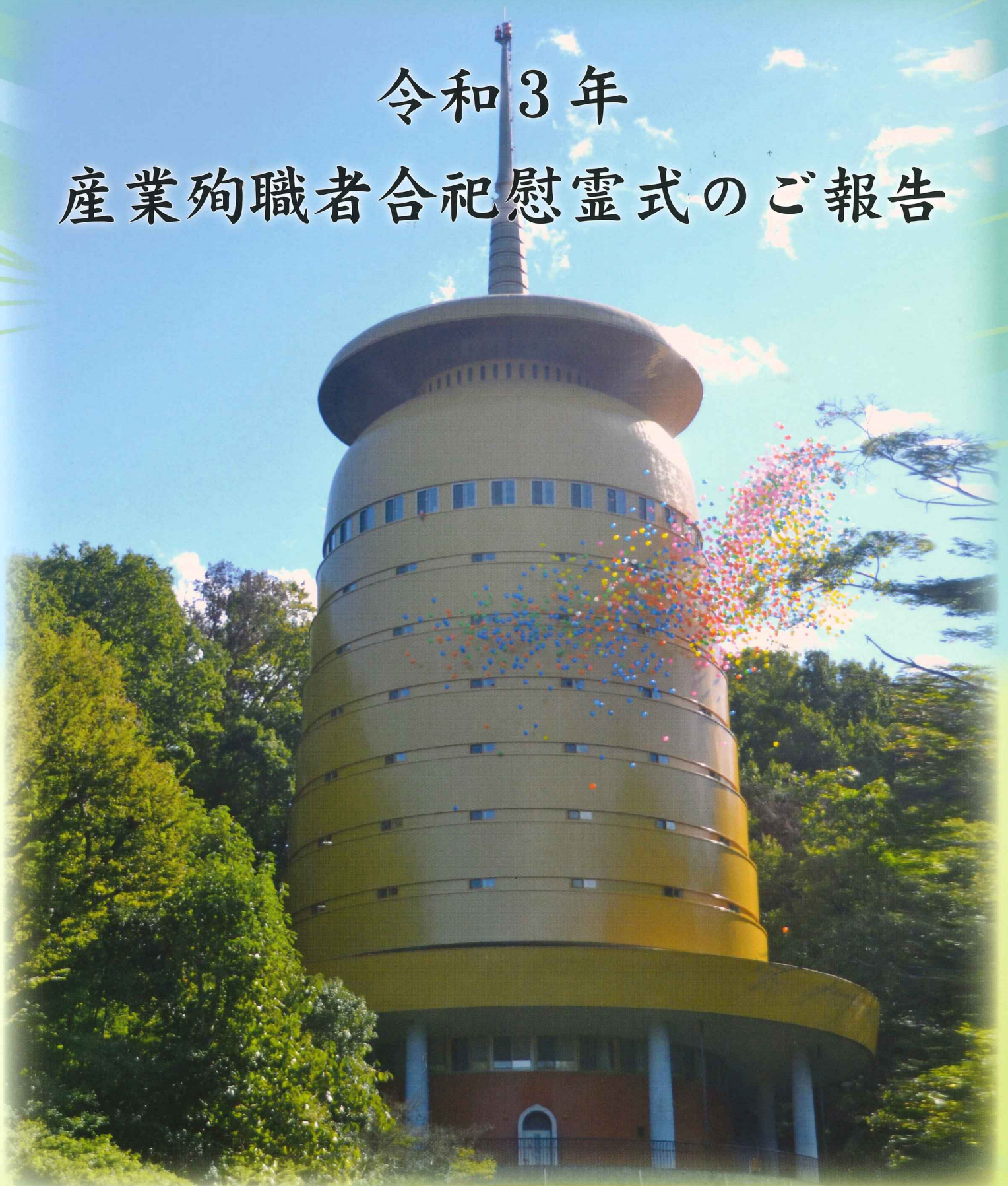


令和3年 産業殉職者合祀慰霊式のご報告



• 期 日 令和三年十月二十日(水)

• 場 所 高尾みころも霊堂
東京都八王子市狭間町一九九二

• 主 催 独立行政法人労働者健康安全機構

• 後 援 厚生労働省
公益財団法人産業殉職者霊堂奉賛会
中央労働災害防止協会
建設業労働災害防止協会
陸上貨物運送事業労働災害防止協会
港湾貨物運送事業労働災害防止協会
林業・木材製造業労働災害防止協会

令和3年産業殉職者合祀慰霊式を10月20日（水）午後1時から東京都八王子市の高尾みころも霊堂にて執り行ないました。本年は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、式典の規模を縮小し開催いたしました。

式典には、御遺族の代表をはじめ、厚生労働大臣（代理厚生労働審議官）、日本労働組合総連合会、日本経済団体連合会、日本商工会議所、中央労働災害防止協会、建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会、八王子市、公益財団法人産業殉職者霊堂奉賛会の各代表が御参列されました。黙禱、慰霊の詩朗読（関谷亜矢子さん）の後、参列者全員による献花が行なわれ、厳粛な雰囲気の中で2,405名の新たな御霊をお迎えし、これまでに奉安された方々の御霊と合わせて268,650名の御霊を慰霊するとともに、安全な職場環境の実現と労働災害の根絶に向けて努力することを御霊の前で誓いました。

御参列出来なかった御遺族の方々のため、インターネットによるライブ配信を行い、同日同時刻の黙とうに御協力いただきました。



開 式



皇宮警察音楽隊による国歌奏楽



霊位の奉安



当機構理事長による式辞



御霊簿を奉上される遺族総代表



厚生労働審議官による慰霊の言葉



黙とう



関谷亜矢子さんによる慰霊の詩朗読



ご遺族による献花

式次第

産業殉職者慰霊の詩 鎮魂曲（虹）

詩 宗 左 近

一	閉式	
一	国歌奏楽	
一	霊位奉安	
一	式辞	独立行政法人労働者健康安全機構理事長
一	御霊簿奉上	遺族総代表
一	慰霊の言葉	内閣総理大臣
一	黙とう	厚生労働大臣
一	慰霊の詩朗読	厚生労働大臣
一	献花	遺族総代表
		各都道府県遺族代表
		労働団体代表
		経済団体代表
		労働災害防止団体代表
		八王子市長
		公益財団法人産業殉職者霊堂奉賛会代表
		独立行政法人労働者健康安全機構理事長
		以上

演奏 皇宮警察本部音楽隊

いまわたくしたちの閉じている
 眼の底の闇の奥から
 いまわたくしたちの圧さえている
 言葉の下の沈黙の深みから
 ゆるやかに浮かびあがってくる
 花びらの渦巻き
 ほほえみの波立ち
 あなた
 仕事着のあなた
 陽の光に咲きでたあなたの顔の汗の
 はじけた花びら
 明るい笑いの仕事着のあなた
 あなたはいつてしまった
 見えないそよ風にのって大空に立ちのぼって
 ちぎれ雲を悲しみに青く染めて
 時間はどこまでも氷っている
 もう夕焼けも赤赤と大空を燃え上らせない
 湖の水のような冷たい明るさのなかに
 取残されてわたくしたちはいま
 氷柱となって立って祈る
 虹となれ
 わたくしたちの眼の底の闇の奥を
 朝明けに芽ぶく地平の草花へときはなつ
 わたくしたちの言葉の下の沈黙の深みを
 巣立つ小鳥のさえずりへひらく
 虹となれ
 もう会うことのない別れの切なさを
 切なさのままに鋭く光と化して
 虹となれ
 あなたがいつてしまったあの日の朝
 かわしあった唇の色と形のそのままの
 虹となれ
 ああ湖の水のような冷たい明るさのなかで
 失われてゆくすべての温かみのなかで
 ちぎれ雲の悲しみに遠く青く染まって
 わたくしたち氷柱となって立って祈り続ける



産業殉職者合祀慰霊式の模様は労働者健康安全機構ホームページ
(<https://www.johas.go.jp>) でご覧になれます。

高尾みころも霊堂ではインターネット上のミニブログサービス「ツイッター」で、施設の開堂状況や産業殉職者合祀慰霊式などの情報を、産業殉職者遺族をはじめとする皆様に発信します。

